

みんなく映画会

# みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈包摂と自律〉



そして、  
私たちは  
愛に帰る

*The Edge of Heaven*  
Auf der anderen Seite  
von Fatih Akin

第2回上映会

2009年10月31日[土] 13:30~16:00 (開場13:00)

場 所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料 (ただし、常設展・特別展をご覧になる方は別途観覧料が必要です。)

定 員 450名 整理券番号順にご入場いただけます。  
整理券は10:00より講堂入口にて配布いたします。  
事前申込は不要です。

主 催 国立民族学博物館

2007年/ドイツ=トルコ合作/ドイツ語=トルコ語、日本語字幕つき/122分/PG12  
監督/ファティ・アキン  
出演/パーキ・ダウラク ハンナ・シグラ ヌルセル・キョセ ジュル・クルティズ

解 説 森 明子 (国立民族学博物館・研究戦略センター教授)

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
TEL. 06-6878-8210 (平日9時~17時) <http://www.minpaku.ac.jp/>

# みんなくワールドシネマ

## 映像に描かれる〈包摂と自律〉

国立民族学博物館では2009年秋から〈包摂と自律の人間学〉をテーマに新しい機関研究を開始します。この機関研究と連動して、テーマにふさわしい映画を選び、研究者による解説付きの上映会も始めました。第2回目は、ヨーロッパにおける移民社会のあり方が描かれている「そして、私たちは愛に帰る」を上映し、多様な価値観をもつ人びとと共生する社会のあり方を皆さんと考えたいと思います。

### 第2回上映会

2009年10月31日(土) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料 (ただし、常設展・特別展をご覧になる方は別途観覧料が必要です。)

定員 450名 整理券番号順にご入場いただきます。  
整理券は10:00より講堂入口にて配布いたします。  
事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

## 「そして、私たちは愛に帰る」The edge of heaven

2007年/ドイツ=トルコ合作/ドイツ語=トルコ語、日本語字幕つき/122分/PG12

監督/ファティ・アキン

出演/パーキ・ダウラク ハンナ・シグラ ヌルセル・キョセ ジュル・クルティス

### 映画解説

トルコ系移民2世としてドイツに生まれ、若さ漲るエネルギーを精力的に撮ってきたファティ・アキン監督が、愛と死という普遍的な題材を静謐に捉えて、さらなる進化を遂げた、カンヌ国際映画祭最優秀脚本賞受賞作。互いを深く愛するがゆえに傷つけ合い、いつも心がすれ違ってしまふ3組の親子が、ドイツとトルコの間をさまよう中で、容易には解決し難い数々の複雑な社会問題が、ほのかに浮かぶ。残酷な運命に身を引き裂かれながらも、伝えられなかった想いを胸に刻み、天国の扉が開くまでの猶予を、あるがまま精一杯に生きる。彼らの凛とした美しさに見惚れるうちに、大切な誰かと熱い抱擁を交わしたくなる、魂のロードムービーだ。

「移民とともに生きる社会」 解説：森 明子 (国立民族学博物館 研究戦略センター教授)

1960年代、経済成長期のドイツは外国に労働力を求めた。トルコから来た労働者はよく働き、稼いだお金で家族を養い、子供を育てた。40年たったいま、第二世代の一部は社会的に高い地位に就き、別の一部は学校からも社会からも落ちこぼれたと感じている。一方で、ドイツからの送金を頼りにトルコで生活を送っている家族はいまもいる。ドイツとトルコで、親と子が、まったく異なる社会的背景をもち、異なる文化のなかで生活する状況が生まれている。異なる文化をもつ人が他人でなく、友人や家族なのである。彼/彼女の文化をどう理解したらいいだろう。移民とともに生きる社会は、人を理解することを問い直し、家族の意味を再発見させる社会でもある。



ドイツとトルコの移民についての関連資料をロビーにて展示

### 「包摂と自律の人間学」

グローバル化の進展にともない、日本国内にはすでに200万人以上の外国籍の人びとが居住しています。また、17組に1組が国際結婚をしている時代です。多様な文化的背景をもつ人びととの共生を実現するために、どのような社会を築いていけばよいのでしょうか。新しい機関研究「包摂と自律の人間学」では、人々の違いを承認=〈包摂〉し、移民や難民に限らず、無国籍者、障害者、失業者など社会的に弱い立場にある人びとが自分らしさを生かすこと=〈自律〉のできる公正で平等な社会を実現する方策について考察します。そして、世界各地に視野を広げて、支援の現場を検討してゆきます。

### 交通のご案内

\*国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

#### ●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

\*映画会のみ参加される方は、自然文化園を通行される場合、入園料が必要となります。ただし、常設展・特別展をご覧になる方は、みんなくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

\*「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。

#### ●バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行行き) 阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)

阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

#### ●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

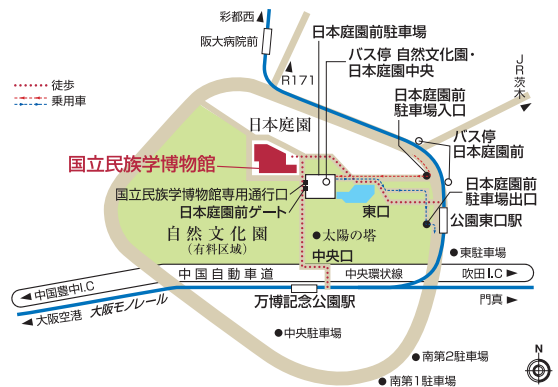
#### ●自動車

駐車施設が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

\*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



### お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室企画連携係  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
TEL. 06-6878-8210 (平日9時~17時)  
<http://www.minpaku.ac.jp/>



第3回 上映会 1月30日[土]  
「オフサイド・ガールズ」

2006年/イラン映画/  
ジャファール・パナヒ監督作品

特別展「自然のこえ 命のかたち—カナダ先住民の生みだす美」に関連する〈みんなく映画会〉のご案内

- 10月24日(土) 地球交響曲(ガイアシンフォニー)第三番
- 11月14日(土) トーテム グブスゴロック・ボールの返還
- 12月 6日(日) 極北の怪異(極北のナヌーク)